

秋号

おおた文化の森

「森で、
実る季節」

特集

～第6回「文化の収穫祭」～ “あなたはなにをGETしますか？”

その時は11月3日(祝日)と4日(日)です。
“とてつもなく楽しく&無事故で”と心から願っています。
テーマは「文化の収穫祭 みんなでワッショイ！希望に燃えて！」と決まりました。異体同心のこの勢いこそ、大成功のカギではないでしょうか。

まず“なんのため？”という「原点確認」と「目的意識」をはっきりしたいのです。過去5回の収穫祭の労苦と成果を踏まえて、こんな問いかけをしてみました。多くのご好評とともに「大人の学芸会さ」「仲良しクラブのお祭りよ」「エゴ丸出し、一部の自己満足ね」等々辛口の回想もまた強かったからです。

私たちが全国に誇る「区民による区民のための文化創造の拠点」大田文化の森。ならば、収穫祭って自分にとって一体なんなの？お一人おひとりが当事者として、あらためてじっくりとこの原点を“哲学して”みませんか？そしてそこに「新しい人生のなにか」を発見してほしいのです。全参加者が胸中に輝く「なにか？」の“収穫”を持って結集できたら、もう最高です。“宝の森”です。上手へたなんか問題じゃありません。豊かな心の爆発！正に収穫の祭りです。

遠心力と求心力のバランス、これは「安定と発展」の原理です。参画の区民の皆さんと実行責任の運営協議会。この両者の絶妙な努力の“収穫”が次の注目点です。今回二者併せて「実行委員会」を立ち上げた所以はここにあります。運営協議会委員は全員が大田区長から厳粛に委嘱された「森」への献身・ボランティアの志願者」



蒲田女子高校のチアリーディングのみなさん(昨年の収穫祭より)

です。当然、会長や事務局長も互選で、任期も一年(再任可)と平等性・透明性を掲げ、権限の集中、独断と受益の偏り等を徹底的に排除しています。その運営協議会委員と文化プレーヤーの皆さんととことん検討・議論して、実行委員会で決定する。こうして風通しをよくして、後でのグチリなく、心に深く残る収穫祭にと願うのです。内容は「運営協議会企画」「文化プレーヤー参加企画」と「一般公募企画」の三つです。

「森」の語源は“もる”“盛んになる”こと。人を惹きつけてやまない「切り口の鋭さ」「新鮮さ」これ

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今月は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



焼き物「イノシン」を作ろう！（昨年の収穫祭より）

が盛り上がりのキーワード、生命線です。同じやるなら“これで皆を圧倒しよう”～一年の総集大成を世に問う～これが「祭り」のコンセプトですから、例え規模は小さくても、素朴でも“切り口で勝負”しましょう。新鮮さで勝ちませんか？こうして“盛り上がる感動”を収穫してほしいのです。

これも今回の重要ポイントとなりました。

予算は可能な限り多く、だが有効に。区民の貴重なお金です。しかし“お金は出ない、良いもの作れ”、これは正直、通用しません。皆さんが大変な中、知恵を絞って涙ぐましい努力をなさっているお姿を拝見すると、一層その感を深くするのです。

もう一点は「全てが次に繋がるもの」を、という思想です。「森」に連続性あるオリジナルな付加価値を、こう考えて運営協議会企画の「収穫祭記念第一回文化講演会」、一般公募で「第一回大田区郷土芸能フェスタ」と「第一回わが町大道芸フェスタ」を創設しました。新しい伝統創りの開始です。ちなみに、4日夕べの講演会は江戸東京博物館の竹内誠館長が「I Love Tokyo“今昔物語”」と題してスピーチ、目から鱗の一夜となることでしょう。

* 具体的な内容については7ページを参照。

運営委員 沼本 光史

第6回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期

企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

元気印 文化プレイヤー

文化の森との出会い

11月10日(土)と17日(土)の2回、『手書き文字で自分を見つけよう!』というテーマで墨文字に挑戦します!

皆さんは、一日に何文字書いていますか?近ごろでは、「文字を書く」ことよりパソコンや携帯電話で「文字を選び、打つ」ことが多くなりました。

手で書く文字は、単にメッセージを伝えるだけでなく、大きさ、形、文房四宝(筆・墨・硯・紙)等によって、多様な表現が可能であるため、一種のアートと言ってよいでしょう。今回は、書道という枠を越えて、音楽、舞踊、スポーツを平面に描くように、また絵画のように、さまざまな墨文字を書いてみたいと思います。

例えば割り箸、ストロー、布などを筆に見立てたり、チラシ広告の裏を紙として利用したり。年賀状なども書きたいですね。参加される方々の自由な発想のもとに自己表現の方法を学び、完成したお互いの作品を鑑賞し、共に語り合しましょう。

私は、一昨年の「文化のたなまき祭」での“気軽にアート”展に、書の作品を展示していただいたことで、運営協議会委員及び出品者の方々と知り合いました。今回は講師として皆さまの多大なお力添えによって、この催しに参加させていただくことになり、心より嬉しく思っております。



平成18年『暮らしの中のアート～七夕しませんか』での席書揮毫

文化プレイヤー 小木 則子

「文化プレイヤー通信」について(毎月1日発行)
登録されている文化プレイヤー(ボランティア)の方々に向けて、企画の活動紹介や情報を共有するために発行している通信です。文化プレイヤー自身で企画・編集しています。
入手方法は、文化プレイヤー登録していただくか、文化の森1階の情報ラックでも配布しています。

文化プレイヤー レポート

■異文化交流実行委員会の企画実施報告

特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか?”

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレイヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレイヤー レポート

文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

第6回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント

「外国人との共生を考える」というテーマで、2007年6月10日(日)初めてシンポジウム形式の講座企画を実施した。約60名が受講し、質疑応答にも活発に参加した。アンケート回答からも参加者のこのテーマに対する関心の高さがわかった。



講座は宮島喬法政大学大学院教授による「違いがあっても同じ人間という経験をどう深めるか、パリの街頭と香港の街頭で考えたこと」と題しての基調講演、そして大田区在住のパキスタン人(男性)3名とベトナム人(女性)のゲストによる「外国人から見た日本と日本人」について日本語でのトーク、最後に宮島教授から総括コメントをいただいた。

以下に宮島教授の基調講演要旨を箇条書きに記す。

- ①日本:「社会メンバーの多文化化」と「日本人の多様化」の進行。
- ②多文化・多民族国家フランス:「外国人」という言葉の相対化。多文化が並存。
- ③香港:異文化に対する、ある意味での「鈍感さ」がある。
- ④日本人と外国人:日本人には日本文化を「特殊」だと考えている人が多い。西欧の人は自分たちの文化は「普遍的」だと考えている。「文化はつねに文化を超えて理解される要素がある」。
- ⑤外国人から見た日本・日本人:区別の意識が強い・議論をしたがらない・日本人だけの場所を心理的につくる・親切だが外国人を「助けるべき存在」と見過ぎる・宗教の重要性が理解してもらえない。
- ⑥「同じ人間であること」の経験をもつために:違いがあつてこそ、識る楽しみがある。以心伝心は不可。日本語で良い、言葉を積極的に使う。「同じ人間であること」の発見は、さらに無二の「個人」の発見へ。「言挙げせぬ国」からの脱却。「外国人」という区別を超える日。



外国人ゲストはトークの中で、日本語を使えてもビジネス面において区別され対等に扱ってもらえないこと、宗教的習慣への日本人の無理解など基調講演の内容を裏付ける体験談をはじめ、フロアからの質問に答える形で日本人の家族観やその他の印象などについてもユーモアや笑いも交えて紹介してくれた。休憩時間にはクッキーとパキスタン人ゲストが用意してくれたチャイ(茶)を参加者に楽しんでいただいた。

異文化交流実行委員会では初めてのシンポジウム形式ということもあり、講座進行に不備な点もあったが、貴重な講義と外国人ゲストの率直なお話から「違いがあっても同じ人間」という経験を深めることの大切さを共に学び、認識を新たにすることができたのではないかと思う。

文化プレーヤー 土岐 啓子

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期

企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール



文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

奥田 和子

大田文化の森の活動を始めたのは4年前の収穫祭の本部受付の手伝いからだった。文化プレーヤーの方から「半日でいいから手伝って!」と頼まれ、家も近いし半日ぐらいなら「まあいいか」と本部受付に座った。その頃の私は子どもが自立し、夫婦二人暮らしとなり、「これからは思いっきり仕事だ!」とかんだものの、ほっとした思いの反動からか、体調を崩していた頃だった。休養しながら『さあ、これからの人生をいかに送るべきか?』を漠然と考えていた頃でもあった。半日受付に座っていた間に同席した運営委員から「1日でいいから展示会の受付を手伝ってよ!」と声をかけられた。興味があつたテーマの展示会でもあり、1日ぐらいなら「まあ、いいか」と引き受けた。その後1日だけその展示会のお手伝いをした。その折に人との出会いもあり楽しかったので、これを契機に文化プレーヤー登録をした。今では背中を押してくれたお二人に感謝している。

芸術事業プロジェクトに入り、「文化の森」にふさわしい芸術とは何かを話し合ったり企画を協議したり、催行にいたるまでの準備に参加した。そこで、多くの人々と出会うことができた。ある企画でお願いした出演者から「文化の森の出演者となり観客から拍手を受けると、精進してきたことが認められたと思ひ自信が付き嬉しくなりました。このような機会に恵まれて本当に良かった、感謝します」と言われ、私もスタッフの一人として大いに感動した。活動を通して、様々な人々がそれぞれ夢や意欲や特技を持っていること。それを表現したいと望んでいることが分かった。そこで、今まで文化の森に目を向けていなかった人や敷居が高いと思っている人にまずは「気軽に声を掛けてみる」ことから始めようと思う。今度は私が背中を押す側にまわろう。そして、誰でも参加しやすい、楽しい、優しい、居心地の良い“森”にするお手伝いが出来ればと思う。今、私は“森”の中にいてとても楽しい!

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。



“誰でも・いつでも集いましょう”
をモットーに!

特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか?”

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあつたけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」をご紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント

誰でも楽しめる実行委員会は毎週水曜日午前、文化の森に行くとかやっているよ！ということで平成13年大田文化の森開館と共に始まった『おじいちゃんおばあちゃんのミーティングルーム(第1週・にこにこ赤十字健康教室／第2週・森のアート／第3週・手話ダンス／第4



週・森のこだま』は今年で6年になり、今年度も継続して実施しています。毎月2回水曜夜、手話の勉強会『手話ドリーム』を開催し、年度末には学習の成果と手話(ボディランゲージ)の理解をしていただく講演会を予定しています。平成19年度より国の特別支援教育がスタートしました。誰でも楽しめるプロジェクトでは、数年前より『教室の中の気になる子どもたち』と題して軽度発達障害についての理解を深める講座を実施してきました。ますます必要とされる講座で、子育て中の方や教育関係者に参加をいただいております、今年度も実施の予定です。また9月24日には、第3回敬老のつどい『おじいちゃんおばあちゃんと子どもたちとのふれあいコンサート』を開催し、大森第五小学校、都立つばさ総合高校の生徒とふれあいのひと時を過ごしました。各担当者(団体)は創意工夫を凝らし実施しており、これからも継続実施したい企画がたくさんあります。誰でも楽しめるプロジェクト実行委員会では、実施報告をもとに今後も皆様に楽しんでいただける企画を日々検討し、提供できるよう努力しております。

文化プレーヤー 小野 朋子

10月～12月 運営協議会【会議】スケジュール

※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

■文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00(第2集会室)

10月5日・19日、11月2日・16日、12月7日・21日

*文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

■役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:00(講師控室)

10月2日・16日・30日、11月13日、12月4日・18日

■実行委員会

- 芸術事業実行委員会(第2金曜日19:00～21:00) 10月12日、11月9日、12月14日
- 誰でも楽しめる実行委員会(第1火曜日19:00～21:00)10月2日、11月6日、12月4日
- 子ども・若者たちの実行委員会(第2金曜日13:30～15:30) 10月12日、11月9日、12月14日
- まちづくり実行委員会(第1木曜日10:00～12:00) 10月4日、11月1日、12月6日
- 異文化交流実行委員会(第3木曜日18:30～20:30) 10月18日、11月15日、12月20日
- サロン交流会実行委員会(火曜日19:00～21:00) 10月2日、12月18日
- 収穫祭実行委員会(第3水曜日19:00～21:00) 10月17日、11月21日
- たねまき祭実行委員会(第1木曜日19:00～21:00) 10月4日、11月1日、12月6日

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期

企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報

文化の森側でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか？”

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレイヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。
今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレイヤー レポート

文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくてもいいから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊のの大倉山公園をご紹介します。

第6回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント

大田の顔 キラリ

花・異次元

～フラワーアーティスト 川崎景太さん～



川崎景太さん

大森・山王にあるマミフラワーデザインスクールに、主宰者でフラワーアーティストの川崎景太さんを訪ねた。お母様は日本におけるフラワーデザインの草分けマミ川崎さん、弟さんは学校の校長であり、花文化研究者の川崎景介さん。

まずは、「自身のフラワーデザインとは」を語っていただく。「自然界に存在する植物は、形、色、線、テクスチャーなど、私たちの想像をはるかに超えて完璧です。私のフラワーデザインは、それぞれの植物の持つ才能、特性、特徴を尊重して、自然界では決して見せてくれなかった姿、その美しさやひたむきさを表現すること。つい見逃してしまいがちな何気ない自然の魅力を再認識し、その姿を多くの人と分かち合い、感動し続けたい」と彼は自然の美しさを畏敬する。

彼が提唱する枝・葉・ツル・茎・根等の自然素材で花をデザインする手法「花くばり」は、自然環境にやさしい。また、「人の“心”に訴えるには五感を満たさないと難しい。プラス、第六感の“心地よさ”とか“幸せ感”を得てもらわなければ、花そのものは息づいてこない」とも言う。



写真と花の共演(ポスフロラ)

写真で紹介しているが、平面のモノクロの写真に生きた立体の花を組み合わせることによって、二次元と三次元が融合し、不思議な世界が生まれる。自由に花を選択することができる新時代感覚の“花のすみか”をポスフロラ(posflora)と名づけ、常に植物とのコラボレーションをし続けている。また作品展の会場には自らプロデュースした音楽を流すなど幅広い分野で活動している。

景太さんは著作『花・異次元』(講談社刊)の巻頭～核Core～で自身の花に対する思いを次のように語っている「今、花の世界に身をおいて植物の“いのち”の尊さを改めて知る。“自然は

デザインの集合体”と言われるが、私の花はこれに“いのち”がプラスされなくてはフラワーデザインではないと思っている。ときどき、自身が植物になったような錯覚に陥ることがある」。山王生まれ、山王小学校、大森第三中学校とバリバリの太田区育ちで、もちろん在住、地域活動として「原っぱの会」のメンバーでもあり、子どもたちに自然な原っぱを残そうという活動もしている。嬉しくなるような「大田の顔・キラリ」である。

(川崎景太さんのオフィシャルウェブサイトwww.keitakawasaki.net)

運営委員 奥田 和子



廊下ギャラリー活動紹介

廊下ギャラリーというのは、文化の森の4階にある廊下の壁面を活用したギャラリーのことで、通常は運営協議会の活動紹介パネルが飾られています。平成16年度から本格的に、区民のみなさまにも活用していただけるように常設展と企画展という内容で実施しています。平成14年の開設当初から平成19年8月までに計24件の区民



の方からの企画を実施してきました。企画実施者からの報告によると、「この場所は無料で提供してもらえるので、作品展を開いてみたい私たちのようなサークルにはとてもありがたい」「個展を開くことが初めてで不安だったがいろいろ教えてもらったので助かった」など、絵画・水墨画・押し花などのサークル、自治会・NGO団体の活動紹介、旅行写真展といったように幅広いジャンルの方に出展いただき、来館された皆様からも好評をいただいております。ぜひみなさんもこの廊下ギャラリーを活用してみませんか。ギャラリーの運営を一緒に担って下さるボランティアの方も随時募集しています。

展示期間：2週間／出展費用：無料／貸出備品：アルミ額縁、立体ボックス／出展条件：1.区内在住、在勤、在学の団体(個人)、
2.営利、宗教、政治活動を目的としないもの、3.搬入、設置、撤去、搬出をご自分で行える方、4.展示物についての管理や保障をご自分で行える方

出展実績紹介(抜粋)

季節を彩る押し花アート／水墨南画習作展／ブラジルの空～写真でつづるブラジルの素顔～／水彩画グループ展／磯家の人々画廊など。
運営協議会事務局 小関 みどり

文化プレーヤー 北岡 三子

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期

企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森顔でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



巨大なガーデンや立派な花畑でなくてもよい。街を往くとき、ふっと思いが浮かんだり、はっと気がつくスポットが沢山あるはず。そこに花があれば楽しめばよい。なければ植える方法がないか考え実行できるかもしれない。こんなスポットが百景もできれば、街が華やぎ、人々が甦る。一昔前、群馬の市民楽団が草の根から成長して「ここに泉あり」と評されたことがあった。

このシリーズは、区民の皆様の推薦スポット。ご連絡を歓迎します。(編集部)

“菊づくり菊見る人はかげの人”

百名山ブームの中、各地に百名山が生まれている。東京百名山もあり、あの大倉山(南馬込)がその一つと聞いてびっくりした。

2千メートル級の雲取山や東京の名だたる山の中に大倉山があるのはどう考えてもふしぎ・・・！

山といえば馬込の山と池上の山の谷に桜の並木道がある。馬込文士村大桜まつりで有名になった所だ。その道路をはさんでチョットいい坂が結構ある。臼田坂上から桜並木に下っていく途中、目の前に中央、池上一帯の山が180度のパノラマのように広がる場所がある。その坂の右手に花畑が広がっている。春はしだれ桜の下に一面の菜の花が咲きどこか懐かしい風景に心が癒される。

先日、尾崎士郎のご長女の中村一枝さんが子どもの頃の馬込の印象を、「馬込は暖かく、住んでいる人もおっとり、肥料のにおいがするのどかな心の安らぎを感じる所」と述懐しておられましたが、そんな当時は偲ばせるこの場所で花作りをしている北村久計さんに出会った。特に菊作りは個人での菊栽培としては最大規模になるという約千鉢を育てている。種類も約50種、寒い日も暑い日も一日も休み無く、子どもを育てるように愛情を注ぎ育てている。毎年11月3日から5日間、菊花展を一般公開し、地域の皆さんに大変喜んでいただいている。来春の桜の咲く頃、100種類ビオラ展の開催も予定している。

花づくりは北村さんの青年時代からの夢の実現だが、もう一つ大きな夢をかけているものに錦鯉の飼育がある。約50匹の見事な鯉は新潟の山古志村産である。新潟中越沖のみなさんが一日も早く安心な暮らしが取り戻せる事を祈りたい。さて、北村さんの手塩にかけた菊たちの晴れの日まであと1ヶ月余り、



特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか?”

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今月は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。



立派な花壇でなくてもいいから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント

第6回 フォレストメーツ チクリ一筆

裏方の楽しみ

仕込みの最中のステージに「オハヨウゴザイマース！」と声をかけながらステップを登っていくと、なんだか自分もギョウウカイ人になったような気分です。自分たちで企画をたてて提案し、運営協議会に取り上げてもらったコンサート、その夢が実現したときには、自分が演奏するわけでもないのに、思わずキーン

チョーしてしまいますね。舞台袖の暗がりからライトに照らされたステージへと演奏者を送りだし、いつかの拍手のあとにおとずれた静寂のなかを、静かにメロディが流れ出したときには、準備のあいだに苦労したことも予算不足にはらはらしたことも、みんな記憶のかなたに消え去っていきます。そして、演

奏終了の大きな拍手とアンコールの声、ホールを出て行くお客さまの満ち足りた表情… そんなときにスタッフのひとりとして舞台づくりにかかわることができた喜びを感じます。これは結構クセになることですね。ひとつのステージが終わると、もう次のことを考えていたりします。

大田文化の森は、区民の企画提案を取り上げてくれる仕組みをもっています。手ごろな客席数のホールや、ロビー、スタジオなどの施設を使って、自分たちがやりたいステージを作り出していく！ そんな区民の文化創造活動が成り立つのが文化の森の特徴。これも運営協議会のみなさんの積極的な支援のおかげです。これからたくさんの提案で、もっとにぎやかな文化の森になっていくよう期待しています。

大田まちづくり芸術支援協会(asca) 野田 隆

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期 企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



2007年上期

企画実施アルバム



■ 誰でも楽しめる実行委員会
「森のアート～社交ダンスに挑戦！」4月11日(水)『参加者の皆様の真剣な表情に、注目してください！』



■ 公募企画「南半球の島 ニューカレドニアで書道を伝授」
5月18日から22日まで展示コーナーにて実施。『大澤和風さんとさわかぜ会のみなさんによる書道を通じた活動紹介』



■ 運営協議会企画
「季節寄席(夏)」7月21日(土)『朝之助改め真打昇進 六代目「春風亭柳朝」襲名公演は大盛況』



■ 芸術事業実行委員会
「子育て中の皆様応援！弦楽四重奏コンサート」4月8日(日)『子育てを頑張っているお母さん・お父さんたちに大変喜ばれました』

特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか？”

読み応えのあるコラムが自慢

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。

大田の顔 キラリ

今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。

第6回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント



■ 子ども若者たちの実行委員会
「被綿(きせわた)を作ろう」8月24日
(金)『宮中の古い慣わしの「きせわた」
つくりを親子で体験』



■ 運営協議会企画
「森の地球っ子」9月12日(水)『「ゆめと
えほんのレストラン」の楽しいひととき』



■ カラオケ・盆踊り大会実行委員会
「盆踊り大会」8月3日(金)／4日(日)
『大人も子どもも輪になって』



■ まちづくり実行委員会
「夏の夕べのコンサート」9月1日(土)
『朗読と平和の喜びを文化の森から発信』

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 旬でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさんの魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

最新イベント情報

■文化の森サロン交流会

文化の森を支える人たちのふれあいの場、懇談の場として、交流会を開催。今回のミニイベントはパントマイムと文化等のミニコンサート。軽食付き

□開催日時:1月19日(土) / 13:30~15:30

□会場:5階多目的室 □参加費:500円(当日直接会場へ)

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■「心の詩(うた)」展 芸術作品大募集！！

この展は、同時開催の「サトウハチローの世界」の関連企画として行なわれ、文化の森1階の展示コーナーにて『母』をテーマにした芸術作品を展示して下さる方を募集しています。写真、書、彫刻、俳句、詩、デザイン、工芸などジャンルは問いません。テーマが『母』以外のもの応募可。

□開催:平成20年2月16日(土)13時~19時、17日(日)10時~17時半

□出展料:無料 □応募締切:1月11日(金)

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■おわび

11月20日発売予定の0歳からの親子でコンサートは都合により翌日11月21日(水)10:00からと変更となりました。より多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

■大田文化の森「文化の収穫祭」講演 追加募集！！

「I Love Tokyo 今昔物語~明日に生かす江戸庶民の知恵と力~」(江戸東京博物館館長 竹内誠)

□開催日時:11月4日(日)19:00開演

□会場:大田文化の森ホール □入場無料 □定員:抽選で150名 ※追加募集 先着50名 □申込:10月22日必着(1通で3名まで申込可)定員になり次第しめきり

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)

楽しいイベントが一杯！ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■懐かしのフォークソング・フェスティバル

フォーク愛好家らによる60年代の懐かしい名曲ばかりを選びすぐった、アマチュアフォークソングコンサート

□開催日時:10月13日(土)13:00~15:00

□会場:大田文化の森 ホール □チケット:1,000円、大田文化の森にて9月1日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■異文化交流コンサート

「インドの伝統と文化を楽しもう！」

インド古典音楽と古典舞踊の神髄に触れ、和楽器との共演も楽しめる

□開催日時:10月14日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール・展示コーナー(13日・14日) □チケット:前売1,000円、当日1,200円(小中学生はいずれも500円)、大田文化の森にて発売中(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■演劇「山わろ~呑川へきたかっぱのこと」

多摩川の奥から呑川へやってきたかっぱと人間の交流に、失われた自然への思いをこめたファンタジー

特集

~第8回「文化の収穫祭」~
“あなたはなにをGETしますか?”

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。



立派な花壇でなくてもいいから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊のの大倉山公園をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント

□開催日時:10月20日(土)?@14:00~15:20?A18:30~19:50

□会場:大田文化の森ホール□チケット:前売2,000円、当日2,300円、大田文化の森にて発売中(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■大田文化の森「文化の収穫祭」

秋の全館イベント。“みんなでワッショイ希望に燃えて!”を合言葉に、ホールでは楽器演奏、合唱、日本舞踊、手話ダンス等、集会棟ではミニショップ、小物の製作、模擬店等、広場では大道芸、踊りなどの催しがいっぱい!

□1日目:11月3日(祝)10:00~18:00

ホールと広場でのイベント

□2日目:11月4日(日)10:00~16:00

集会棟と広場でのイベント

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■大田文化の森「文化の収穫祭」講演

「I Love Tokyo 今昔物語~明日に生かす江戸庶民の知恵と力~」(江戸東京博物館館長 竹内誠)

□開催日時:11月4日(日)19:00開演 □会場:大田文化の森ホール □入場無料 □定員:抽選で150名 □申込:10月22日必着(1通で3名まで申込可)

■大田文化の森落語会季節寄席<冬>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、春風亭柳朝(朝之助改め真打昇進)他。演目は未定

□開催日時:12月15日(土)15:00~18:00

□会場:5階多目的室 □チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて11月15日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■Oh!盛祭~young連花咲かせちゃいなyo!~

青少年が主体的に企画し、青少年委員と一緒に青少年活動の成果を発表する場を「若者の手で作る」活動

□開催日時:12月16日(日)10:00~14:30

□会場:ホール・多目的室・広場・集会室他

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■大田文化の森合唱団演奏会

1年間の練習成果を発表し、来館された方々に感動を与える演奏を行うことを目指す。演奏曲目は混声合唱のための「ホームソングメドレー」、ロッシーニ作曲「小荘厳ミサ曲」、「クリスマスソング」等

□開催日時:12月22日(土)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:2,000円(当日券も同額)、大田文化の森にて10月22日10:00から発売。未就学児不可

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■0歳からおやこでコンサート

0歳からだれでも、一人でも、家族全員でも参加できる、楽しいヴァイオリンを中心としたコンサート

□開催日時:1月20日(日)14:00~16:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:500円、大田文化の森にて11月21日(水)10:00から発売(2歳児未満無料、但し、保護者の膝の上)。ベビーカーでの来場はご遠慮願います。

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■まちづくりフェスティバル~世代をつなぐまちづくり~

“食・健康・環境”文化をテーマにしたまちづくりイベント及び大田区でまちづくり活動を実践している個人・団体が一同に会し、活動を紹介し、互いに「たたえあう」イベント

□開催日時:1月27日(日)10:00~17:00

□会場:5階多目的室、集会室など

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■フィリピンの生活と文化

大田区在住のフィリピンの方々に参加を募り大使館の後援を得て、フィリピンの文化に触れるイベント

□開催日時:2月11日(月・祝)13:30~16:00 □会場:5階多目的室 □チケット:1,000円(小中学生500円)、大田文化の森にて12月11日10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■和太鼓ふれあいコンサート“絆”~夢と希望そして未来へ~

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期

企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

障害者・健常者が和太鼓を通して心をひとつにし、和の音を極めていく集団『和太鼓 流星群

With X』とゲストによる和太鼓コンサート

□開催日時:2月23日(土)13:30~16:30

□会場:大田文化の森ホール □チケット:1,000円、大田文化の森にて12月23日10:00から発売

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **体験してみよう!** 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■わくわく科学の森 ～とぶたねのひみつ

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。楽しくわかりやすい実験で子どもたちの科学への興味を引き出す

□開催日時:10月27日(土)9:30~11:30

□会場:3階美術室 □定員:抽選で親子15組 □参加費:100円 □申込:10月18日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■外国人との共生の中で お互いの文化を体験しよう

大田区在住の外国人に参加を呼びかけ、日本の文化に触れ、体験してもらう

□開催日時:11月18日(日)10:00~15:00 □会場:3階和室、調理室、美術室、第1集会所 □参加費:300円 □定員:抽選で60名 □申込:11月5日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■地球をリサーチ

環境問題を取り上げた小学生の親子対象の実験教室。映像と実験とで身近な地球環境を考える

□開催日時:12月8日(土)9:30~11:30 □会場:4階第2集会所 □定員:抽選で30名(親子可) □参加費:無料 □申込:11月19日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■日本ソバ打ちと異文化交流

日本の代表的な料理ソバ打ちを外国人の方々に参加を募り、体験を通して異文化交流を図る

□開催日時:12月9日(日)10:00~14:00

□会場:3階調理室 □参加費:1,000円

□定員:抽選で30名(中学生以上)

□申込:11月22日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **生活・心に役立つ講座** 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■手書き文字で自分を見つけよう

手書き文字は最も身近な自己表現。自由に書く楽しさを知り、互いの文字を味わい語り合おう! 年賀状にも挑戦

□開催日時:11月10日・17日(各土)14:00~16:00 □会場:3階美術室 □参加費:1,000円 □定員:抽選で35名(15歳以上) □申込:10月29日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■江戸切子で語る「蒲田モダン」

蒲田のガラス工芸の流れを通して、近代工芸文化を発祥した「大正・昭和の蒲田モダンデザイン」と現在を語る(江戸切子ガラス作品の展示あり)

□開催日時:11月18日(日)14:00~16:00

□会場:4階第3・4集会室 □参加費:500円

□定員:抽選で40名 □申込:11月9日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ガーデニング講習会(第2回)

クリスマスとお正月にも楽しめる寄せ植え

□開催日時:12月2日(日)10:00~12:00

□会場:3階工芸室 □参加費:2,000円 □定員:抽選で30名(小学生以上)

□申込:11月19日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■日本の年中行事をお茶お花で体験しませんか

季節の移り変わりと共に行われる、日本の年中行事の由来と季節感を楽しむ

□開催日時:12月2日(日)クリスマスの花、12月16日(日)お正月の花、1月20日(日)新年

のお茶、各回13:30~15:30 □会場:美術室、和室等 □定員:抽選で25名(小・中学生)

□参加費:1,500円 □申込:11月19日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ワイヤーアート~大人のワイヤークラフト

ワイヤーアートの大人向け講習。淡水パールやバロックパールを合わせ、ワイヤーをねじってオリジナル・コサージュを制作

□開催日時:12月15日(土)13:30~15:30

□会場:4階第2集会室 □定員:抽選で20名 □参加費:700円 □申込:12月3日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■美しき文士村4

~森の文学館「馬込文士村名作劇場」

馬込文士村の文士たちの足跡をたどるシリーズ講座。第4回は、松尾智昭氏による馬込文士の作品の講演と朗読

□開催日時:1月19日(土)13:30~15:00 会場:4階第3・4集会室 □参加費:500円 □定員:抽選で65名 □申込:1月11日必着

□申込:1月11日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■和の動きで誰でも楽しくできる健康舞踊

わずかな動きで深層筋をきたえ転ばぬ体作りを目指し、若さと元気を取り戻し、踊る楽しさを体験

□開催日時:1月21日、2月4日・18日、3月3日・10日(各月)13:30~15:30 □会場:3階和室

□定員:抽選で20名 □参加費:1,500円

□申込:1月12日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■楽しい歌舞伎講座

400年の伝統を持つ歌舞伎に、ちょっと敬遠気味のあなたを楽しい歌舞伎の世界へご案内

□開催日時:1月25日、2月8日、2月22日、3月14日(観劇会)、3月28日(各金)10:00~12:00

□会場:4階第3・4集会室 □定員:35名 □参加費:2,000円(観劇料は別途) □申込:

1月11日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

📢 お知らせ 運営協議会からのお知らせです

■9月から『おはなしのへや』を再開しています！

絵本・紙しばい・手あそびなど、読み聞かせを中心とした幼児・小学生対象のおはなし会

□開催日時:毎月第1・3木曜日15:00~15:30 □会場:保育室他

[※チラシはこちらをご覧ください](#)



おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、3.「運営協議会と共催で行う事業」の3種類があります。管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

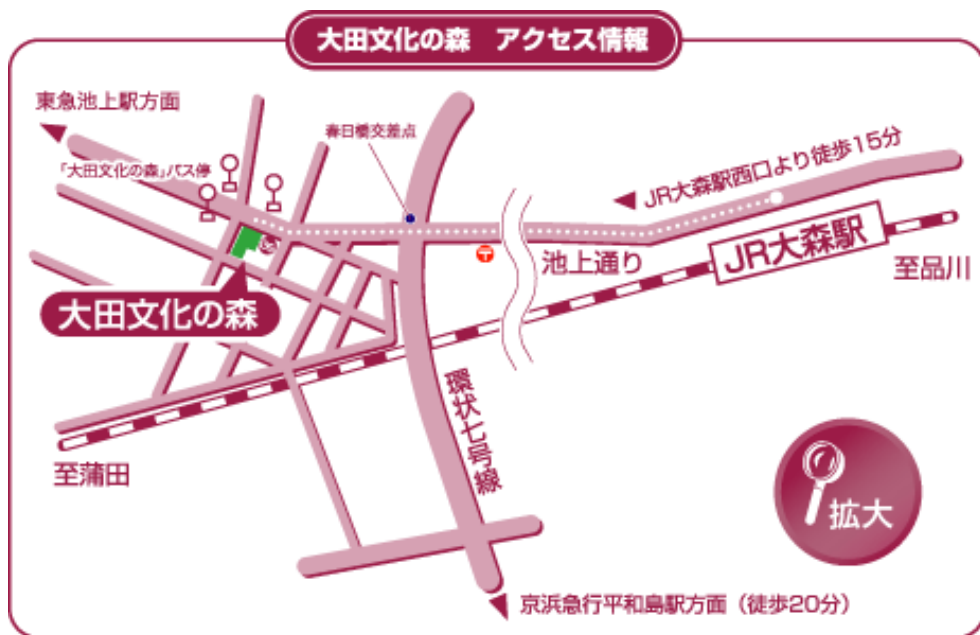
1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する、3.運営協議会と共催で行う

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする

●貸館を利用する

うぐいすネット(コンピュータを活用した登録制の申込システム)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

■JR蒲田駅(西口)

特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか?”

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期

企画実施アルバム

2007年上半年期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール



文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさんの魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版

2007年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



F&F 編集後記

◆暑い夏も峠を越しいよいよ秋ですね。感傷の秋、地域活動の重鎮でした新井宿連合会長の岩井久人氏のご逝去を悼み謹んでご冥福をお祈りいたします。

青柳博之

◆「大田の顔・キラリ」取材のたびに、キラリと輝く大田の星たちのまばゆさ、大田の人材の豊かさに驚きと感動を覚えます。

奥田 和子

◆情報誌の編集を担当するのは初めてであり、とても新鮮さを感じています。親しみある情報を提供できるように努めて参ります。

北岡 三子

◆廊下ギャラリーで出展した方から、多くの感謝の言葉をいただきました。とてもうれしい限りです♪

小関みどり

◆裏方として第5号から関わり、25号になりました。長い道には試行錯誤・紆余曲折ありましたが、少しずつ双方向的な誌面に近づいてきた感があります。

佐藤 佐智枝

◆爽やかな読書の秋を迎えました。文化の発信誌として、大田区民全員が目を通してくれるような情報誌にしたいけど、遥か遠い夢だろうか?頑張ります!!

宗 正雄

◆長〜くて暑い残暑もやっと終わり、いよいよ秋本番! 夜長を虫の音を聴き、名月を観て、疲れた五感をリフレッシュ!!

矢野マサ子

◆編集委員の呼吸の合った「協働」の成果がこの情報誌の魅力を創造しています。委員の皆様にご登場していただきました。新委員が担当して一年経過しました。日々新たなり、毎号新たなり。

2007年10月 (編集長) 福野 幸雄

◆そろそろ灼熱の7月である。文化の森も情報誌の内容も熱気を帯びてきた。第三期運営委員の活動も今号「ひとこと」で始まり本格化している。

◆文化プレーヤーや実行委員の活躍は、さまざまな夜空の星のように、きらきら華やかな星もあれば、地味に長く瞬いている星もある。いろいろな活動をできるだけ「元氣印文化プレーヤー」「実行委員会いきいき」「文化の森育ち」など多面的に紹介していきたい。

◆ふとすぐ脇に、世界に通用する匠を紹介する「大田の顔キラリ」の今号は「江戸切子」である。「おおた花百景」は変貌しつつある「山王花清水公園」をとりあげて波紋を広げたい。

◆皆様のご愛読とご支援で、文化の森もこの情報誌も中味が濃くなっていきます。

2007年7月 運営委員(編集長) 福野幸雄

【追悼】

平成18年8月号「おおたの顔キラリ」で掲載させていただいた、ロケットや医療機器等の

特集

～第8回「文化の収穫祭」～
“あなたはなにをGETしますか?”

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今月は「異文化交流実行委員会」を紹介します。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は奥田和子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる委員会」です。



今回はフラワーアーティストの川崎景太さんをご紹介します。新時代感覚で花を生けるその秘密とは。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「廊下ギャラリー」を紹介します。



立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回は素晴らしい菊の大倉山公園をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメント

部品製造にも使われている独特の金属加工技術「へら絞り」、その熟練職人として世界的にも知られた“ものづくりに拘る小さな巨人”北嶋紋製作所会長、北嶋一甫さんが3月11日、69歳でご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

や期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年上期 企画実施アルバム

2007年上半期(4-9月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール



文化の香り漂うこれからの季節、文化の森でもたくさん魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

- 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
- ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.25Web版
2007年10月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

◆新緑萌える春である。情報誌の誌面のあちらにもこちらにも、新鮮な原稿が萌え出でている。奥田さんに、フレスコ画家大野さんの芸術を暖かい眼差しと鋭い感性でレポートしていただいた。前号のシリーズ「ここに花あり」で矢野さんが「大倉山公園」への熱い思いを語ってもらったが、早くも反響があり後日談をフォローしていただいた。情報誌の記事は単なる事実の報告に止まらず、それがきっかけになって何かアクションや具体的な反応を呼び、ひいては大田区の街、活性化に繋げたい。

◆区民文化のメッカ、ベースキャンプでありたい文化の森で、次々と文化プレーヤーや実行委員会の活動の芽をふき、花びらが開きつつある。近い将来、百花繚乱となるであろう。「元気印文化プレーヤー」や「実行委員会いきいき」シリーズに見えている。

◆トップページに、二つを記事にした。たねまき祭が終わって今年度の運営協議会活動のキーワード「世代をつなぐ幸せづくり」という地球的問題、とくに日本社会の宿題を、あえていえば難問を、それも楽しく具体的な企画と行事で解いていくことになった。第二期運営協議会委員は任期を終え、第三期にバトンタッチである。第二期委員の達成感と次期への願いを込めた報告書が先週仕上がった。

◆春と共にますます繁る文化の森に合わせて、情報誌の内容も繁りつつある。

2007年4月 運営委員(編集長) 福野幸雄

◆文化の森運営協議会の活動そのものが、区民の皆様、どんなかたちであるにしろ、参加によって成り立っています。活動の一環であるこの情報誌「おおた文化の森」の企画、編集、取材、出稿、頒布にいたる作業も、また、皆様の参加によって世に出ているものと思っています。号を追って、この「参加型」の内容が濃くなっており、編集に携るものとして、心強く思っています。

◆文化の森のビッグイベントである「収穫祭」の成果を凝縮してご報告すると同時に、すぐ目の前の「たねまき祭」のさわりとコンセプトをご説明しました。さらにページを繰っていただければ、

「ここに花あり」「大田の顔キラリ」「文化の森育ち」「実行委員会いきいき」「我に一芸あり」などなど、シリーズ物をちりばめております。文化の森活動の豊かできいきとした多様な表情を見ていただくと同時に、取材や寄稿が、幅広い「参加型」であることに気づかれるでしょう。

◆運営協議会第二期委員の任期の中で、この1月号と次号4月号を残すのみとなりました。第二期の集大成であると同時に第三期委員へのバトンタッチを意識して編集しております。文化の森活動の一つのシンボルとして、今後とも、この情報誌の愛読者と応援者が増えていくように努めたいと思っています。

2007年1月 運営委員(編集長) 福野幸雄

◆情報誌「おおた文化の森」は、文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい。すなわちF&Fです。運営協議会が推進する文化の森の活動を訴える表情豊かな「顔」であり、活動に参加する人々が楽しみと生きがいを求めてかかげる「旗」です。

◆素人集団の編集委員がわずか隔月発行の数ページの中にさまざまな企画や活動を圧縮して収めるのは至難の技です。

何を記載するか、如何に記載するかを限られた時間で決定し実務的な作業が求められます。

◆運営協議会の発信を大声でわめくだけでは誌面に魅力がなく、ベースにはわれわれの大田区を好ましく思い愛する気持ちを引き出し掘り起こす記事を、運営協議会の視点から提供したいと思っています。

2006年10月 編集長 福野幸雄